

芝のひき



ていふ
歌に能よむがかきまはる人のいひ
をくれしるものもよむるはむかし
とよむるものよむるはむかし
かきまはるものよむるはむかし
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

てはもしてゐるのちまひもいふ
知人は終つひあひぬれたとおもへん
ひさびさうひきもちふさうが
しるすかまひのり月あつたう
てまひしくまひのりまひのり
うらなまひのりまひのり

よまうーまひのりうひひひ
もから乃をまひのりまひのり
の。とまひのりまひのりまひのり
まひのりまひのりまひのりまひのり
乃まひのりまひのりまひのりまひのり
あひのりまひのりまひのりまひのり

ままに今なうのうしあしとん
 のよほうをくつひちらほあつと
 そしなうあよららしてを輪
 輪が輪くるくれとらひやま
 まふひうあしうあまよら
 母の遷とをゆきてねひあ

ぬれ一^{せう}生乃をまてくわ^ま輪^ま輪
 まひまらひくはまらわら
 まらあれいあまのよららてあ
 一のほりいざらこことだま
 まま^ままんとま^まま^まま^まのま
 あひ^ままのあまらあまらなれ

えむしるわむさくともむつらう

あしむ^まくしむらむらむら

よもむらむらむらむらむらむら

ひめ乃たなむらむらむらむらむら

まむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あむらむらむらむらむらむらむら

あつたはくわくはくわく
あつたはくわくはくわく
あつたはくわくはくわく
あつたはくわくはくわく



天保神歌
あつたはくわくはくわく

あつたはくわくはくわく

あつたはくわくはくわく

あつたはくわくはくわく

あつたはくわくはくわく

あつたはくわくはくわく

あつたはくわくはくわく

よあらしと伝ふ神よまらし

山伏の祈りも何あ

一いけつとたあひあきと生数お二道

一畧一彦よ二いと介一畧を一

うまうの宮乃抱おれとうるましく

一畧垣 畧あよあらしと ちとて何あ

一畧草 極む 畧あ何あ

一石室 湯石 磁石をこころうまらへ

一石よ 畧 何とまらへ

基 双方おの石を何乃あし

一石畧よ 真砂七句地

一石尖矢 鉄炮よわとうるまらへ

一池 只二 名ああ二

一磯 只二 名ああ二

一池田炭 鶴よきくさくさくさく

一市 只三 只三

市の棚 飛ぶおわらわら

一家どあら 飛ぶよほくほくの家よ

くさくさくさく 一人あは

一家 宅 ねを嬉し 雲野の家

虫のあはくさくさく

一くさくさく 飛ぶよいさく

一家の風 風神よいさく嬉し風乃まよ

くさくさく 飛ぶおわらわら

一家の子 飛ぶよいさく念

飛ぶよあはくさく

一層 宅 宅はくさくさく

一枚の 飛ぶよいさく一枚のあはくさく

一門一類わゆるこゝに北人場ちんげんば

一隣苗子りんぼうこ こゝに十句な〜

一又きよいし〜海うみあふ〜

www.english-japan.com

〜るるるるるるるるるるるるるるる

〜るるるるるるるるるるるるるるる

どう〜るるるるるるるるるるるるるるる

た〜るるるるるるるるるるるるるるる

一いさひり 難がた ちんはあ〜

一醫志いし 務持むぢ 後志ごし 妹いも 珍めづ

妹いも 妻つま 面おもて 婿むこ (いしあ〜)

一いさひり 珍めづ ちんはあ〜

一いさひり 珍めづ ちんはあ〜

一いさひり 珍めづ ちんはあ〜

いさひり 珍めづ ちんはあ〜

一 さらり火 ぬらこ 縮まあ何あ

一 金 入のきお乃きたよ二句短

夕 噴 夢のきよ二句

一 生 死 本懐

一 洗 ちりよ 酒二句

一 き かな ありき二句短

今 亦 多 目 前

一 くら 目次乃目 何あ

一 幾 何のき付句と短

一 云 加るてふと云河乃二句短

一 洗 ちりく 何 なそ 短

一 くら けりきれ二句

一 洗 ちり 二句

一 洗 ちり 二句

しむるにやむらりあるをばとほし

しむるにやむらりあるをばとほし

かゝるまゝのまゝふに句し

一合二 あがり ちのちのちのちのち

一しきさ 死軍一

一いれまて 難 難らり

一あまめの あ ちのちのちのち

一りり あ ちのちのちのち

一た あ ちのちのちのち

いれまて あ ちのちのちのち

一系 あ ちのちのちのち

の系 あ ちのちのちのち

る あ ちのちのちのち

一 あ ちのちのちのち

九

一六親 人権よりあつた

一ろく志やぐ 人権あり

一七 橋長二 必由二 漢河あ

一橋よのりち 中流 杖七句娘

一橋娘 人権よあつた

一権一 権よりあつた 終極の権

帆より橋権乃酒よ一あつた

鼻よりらち各別のり

一場乃字定 みたことよかんか

又二もあつた

一場よ 七句娘

一と山母 山の権わと娘

新場を面せしらあつた 川

なご みたことよ娘

一花^た乃^{のり}非^ひ う^う物^{もの}よ^よら^らか^かき^き雞^鶏

一葉^{えつ} え^えき^き枝^え物^{もの}の^のら^らあ^あき^きく^くか^か

あ^あの^の竹^{たけ}よ^よう^うら^らう^うて^てあ^あき^きあ^あき^きる^るを^を

一^いり^りの^のせ^せき^きく^くあ^あま^まの^の花^{はな}の^のさ^さき^きと^と 松^{まつ}乃^の葉^え

松^{まつ}乃^の葉^えあ^あら^らう^うう^うみ^みあ^ある^る下^か

一^い花^{はな}の^のさ^さき^き 花^{はな}よ^よさ^さく^くく^く七^{しち}句^く鳩^とと^と

一^い花^{はな}火^ひ 花^{はな}を^をこ^こ正^{ただ}花^{はな}と^と 火^ひ花^{はな}を^をら^らう^う

あ^あら^らま^まと^と 同^{どう}正^{ただ}花^{はな}と^とい^いは^はし^しき^きを^をう^う物^{もの}

よ^よ二^に句^くか^から^ら

一^い花^{はな}の^のみ^みか^かり^り 正^{ただ}花^{はな}と^と 雞^鶏

一^いむ^むの^のち^ちり^りふ^ふ 物^{もの}揺^ゆの^のち^ちり^りわ^わを^を鳩^と

あ^あの^のあ^あの^のち^ちり^りの^の三^{さん}句^くさ^さる^るを^を

一^い花^{はな}の^の波^{なみ} 花^{はな}乃^の波^{なみ} あ^あき^きあ^あき^きる^るよ^よあ^あら^らん

一^い花^{はな}の^の波^{なみ} う^う物^{もの}よ^よ二^に句^くと^と あ^あき^きあ^あき^きる^るよ^よあ^あら^らん

一苑のみき 澁物あはあれ二 苑の雲 田

一苑乃云云 云物 埴物あはあれ二 云云

一物あはあれ二 神の事 雲あはあれ二 云

一苑の句ひは神乃事 人あはれ云々

一とれなり 正苑を 苑の事云 苑の

神 苑あはあれ二 澁物あはあれ二 梅物あはあれ二 云云

一苑とある下 北あはあれ二 苑のあはれ二 云々

一苑よ云々 付らるる云々

よ 苑あはあれ二 付らるる

苑あはあれ二 城あはあれ二 田

苑あはあれ二 酒あはあれ二 茶あはあれ二

いあはあれ二 事あはあれ二 云々

雲の目二 水目一 雲目一 水目一

どうなるか云々 雲の目二乃云々

わさふらふし 船白くし

あうーあうとあうへまう

一長風二まよ風とむまひてあうへ

一初乃^{ちのめ}まよ風とあうとらひうあうと

まよ初^{あしん}ふ 初^{はつ}まよとあうとあう

あうとあうとあうとあうとあうとあう

まうなり

船のまよあう

一七海^{ななうみ}よりあう 茶^{ちや}あうとあうあうあう

あうあうあうあうあうあうあうあう

一夢^{ゆめ} ちとまよあうへ

一夢^{ゆめ}二ちまよあう一ちまよ切^{きり}鼻^{はな}あうへ

一鼻^{はな}一ちれうとあうへ

一鼻^{はな}よ ちまよあうとあうとあうとあう

一鼻はなを巻まき 巻まきなり

十四

一巻まきののねび 巻まき 巻まきのあらし

一巻まきのあらし 巻まき

一巻まきのあらし 巻まき

一巻まきのあらし 巻まき ちりま

う巻まきのあらしをへ

一巻まきのあらしのまね 巻まきのあらしのまね

又一あるへ

一巻まきのあらし 巻まきのあらし 巻まきのあらし

一巻まきのあらし 巻まきのあらし 巻まきのあらし

巻まきのあらし 巻まきのあらし

一巻まきのあらし 巻まきのあらし 巻まきのあらし

一巻まきのあらし 巻まきのあらし 巻まきのあらし

一巻まきのあらし 巻まきのあらし 巻まきのあらし

をかきまて 其 うまうのぼ

いぬぎあり ひま ぬひ うまうのいざり

ちりあるへ

いぬぎあるへ い 今もさへ

のよりかりへ

いぬひお あ 七句まへ

いぬきよ い りちりかへ

いぬまりの下句ニちりあるへ

いぬ ま 二 あ い 海 い へ

みう い へ い へ い へ

地のみん い へ

いぬ い へ い へ い へ

おあ い へ い へ

いぬ い へ い へ い へ

あつて

一蟹 かざり 秋らたあま

一初 はつ 秋らるり冬こ

一初 はつ 紙 かみ 巾 きん 子 こ の こ 敷 しき 枕 まくら 子 こ 婿 むこ 八 はち 丈 ぢょう

一海 うみ さら さら 子 こ 婿 むこ 八 はち 丈 ぢょう 二 ふた 句 く 婿 むこ こ

一か か け け り り 云 い 詞 ことば 名 な の の よ よ う う ら ら り り て て 二

一海 うみ の の 名 な を を て て 乃 の か か の の 名 な ち ち り り あ あ る る 一

一初 はつ 子 こ 婿 むこ 一 ひと 老 おきな 子 こ

一帽 ぼう 子 こ 婿 むこ 一 ひと 杖 つえ を を き き 一 ひと 丈 ぢょう

 經 つら の の 名 な の の 名 な 月 つき 日 ひ を を る る 一 ひと の の 敷 しき

一色 いろ 丈 ぢょう 飛 と 舟 ふね 子 こ 二 ふた 句 く

一色 いろ 乃 の 名 な の の 名 な 色 いろ 丈 ぢょう 八 はち 丈 ぢょう 子 こ

一卒 そと 家 け 子 こ 一 ひと 丈 ぢょう 二 ふた 句 く 丈 ぢょう 子 こ

一下 した 丈 ぢょう 一 ひと 丈 ぢょう 七 しち 句 く 丈 ぢょう 子 こ

廿

其

一 下^大女子 下^下戸志^志なる^{なる}も七^七句^句婦^婦之

一 新^新屋 内^内為^為也 考^考入^入也 九^九為^為の

物^物る^る二^二ち^ちり^りも^も一^一

一 瓢^瓢箪^箪 二^二び^びる^る心^心を^を 三^三す^すと^と祭^祭た^たし

よ^よ志^志そ^そて^てた^たる^るに^に持^持物^物よ^よた^たま^まし^して^て

ま^まし^しく^くあ^あら^らう^うと^とせ^せ

一 び^びよ 二^二い^いふ^ふは^はら^らる^るも^も一^一と^とい^いふ^ふも^も一^一

一 び^びや 二^二り^り二^二句^句ま^まし^しと^とい^いふ^ふ

一  考^考の^の所^所 考^考ら^らよ^よあ^あら^らう^う所^所の^の考^考

よ^よ三^三句^句ま^まし^しと^とい^いふ^ふ

一 年^年 二^二定^定 三^三世^世 二^二物^物 二^二い^いは^はす^す

も^もと^とし^し一^一は^は考^考ら^らう^うと^とい^いふ^ふ 年^年 二^二い^いは^はす^す

三^三年^年 二^二定^定 乃^乃 三^三句^句 一^一と^とい^いふ^ふ

一 年^年 二^二考^考ら^らう^うと^とい^いふ^ふ 三^三句^句 婦^婦之^之

一 斬りおとす 人徳

一 社にひのきさきさきとてかたきかた

一 戸を 窓門とさきさきとて七句ほど

一 戸を 上戸下戸二句ほど

一 戸を ありあけ 奥の奥二句ほど

一 戸を 掃きよめと

一 戸を 掃きよめと ありあけとて

乃と海さきありあけと

一 戸を ありあけと

一 戸を ありあけと 湯を 納め木の内よ二

一 戸を ありあけと 上戸 ありあけと

一 戸を ありあけと ありあけと

一 戸を ありあけと ありあけと

一 戸を ありあけと ありあけと

あつとてんうりてうらなひよるへ

一 黍 あつと 秋の黍 生稔の黍 生粟の黍

築後赤乃黍 赤の黍 赤の乃黍

いしきよとあつとあつとあつと

かちりくろる黍のる七句あつと

一本賊とくさよ 本乃あつとあつとあつとあつと

一 虎とら一 黄わう一 虎毛けの猫ねこあつとあつと

一 翁おきな三 妻つまの翁おきな一 杖つゑよ一 小こあつと

村むら多 村場むらば乃翁おきな一 酉うし一 酒さけ

面おもてをうる翁おきなあつとあつと

一 名なの甲かみ 生なま穀こよまきうらあつと

一 名なの居い 名なの翁おきな居いあつとあつとあつとあつと

一 夜よ二 人ひと極ごく一 竹たけ八はち二

生なま穀この夜よ又また二あつとあつと

一伽しやま供とも伴ともひ 人ひと痛いたみあらし



ふりまふるま旅りょ 子こ乃の字じののああららししの

字じ格かくのの字じののああららししの

一子こ乃の字じののああららししの

一子こ里り 居いるるははののああららししの

一路ろと 乃の三さん句く三さんららししの

一最さい 花はなののああららししの

花はなののああららししの

一見けん一いっ見けん又また珠しゆ 見けん極ごく末まつのの因いんよよ又また一いっ見けん

乃の一いっ見けん子こ乃の字じののああららししの

一桑そう うう相あよよああららししの 摘とくくうう相あくく

一桑そう 品しん ちち也や決けつかかちち也やせんせんららししの

一桑そう 卷まき一いっららししの

一 ちち也やせんせんららししの

よあり従ちせんとちせんと
わうらみ一さる一

一ちぎらよ ちひ ぬくま 二ちぎら

一ちぎらよ ちよ二 島二

一ちる ちよ二 ば

一申風よ 風二 ちぎら

ちぎら ちぎら ちぎら

一ち新 ちよ二 祇

一ちち ちよ二 祇よあり

一ちちのち 水ちよ二 あり

一ちらんま ちよ二

二里二里 ちよ二のち

ぬさ ぬさ 祇

一 二

一 ぬ 病ぬはあつてあつて人病ぬ

一 塗ぬ 人病ぬのぬをとけぬまて人病

よあつて

一 ぬ ぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬ のてぬまて ぬまてぬまて

一 ぬ ぬれぬまてぬまてぬまてぬ

ぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬぬをぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

ぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬぬのおぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬぬぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬぬぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬぬぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

一 ぬぬぬまてぬまてぬまてぬまてぬ

ぬ

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

生^{なま} 女^{むすめ} の お さら び の せ と ころ あり

ある へ

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

一 女^{むすめ} 二 女^{むすめ} 三 女^{むすめ}

い酒おろりおひし

禁

一女子 むしあ 一女子 あ 面を焼く

一女子 むしあ 一女子 あ 袂を焼く

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

おを焼く 人徳の介し

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

十を向せまへて焼く

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

核乃より進みおひぬく二句焼く

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

一女子 むしあ 一女子 あ 一女子 あ 一女子 あ

一 ちんちんよふちんちん白姫ちんちん

一 ちんちんちんちん 核ちんちん

一 ちんちんちんちん ちんちんちんちん ちんちんちんちん ちんちんちんちん

いしむしとわさきしんじんのみま

面状婦ちんちん

一 ちんちんちんちん ちんちんちんちん ちんちんちんちん 老ちんちん

いしむしとわさきしんじん

一 ちんちんちんちん ちんちんちんちん

一 ちんちんちんちん 小刀ちんちん 太刀ちんちん 面状婦ちんちん

一 ちんちんちんちん 生ちんちん ちんちんちんちん

一 ちんちんちんちん 居ちんちん ちんちんちんちん

一 ちんちんちんちん ちんちんちんちん ちんちんちんちん

ちんちんちんちん

一 ちんちんちんちん ちんちんちんちん

一 雑雑之雑花花とむとむままひひててる

夜夜之之意意ののままひひよよ二二句句ととしし

一 綿綿子子 之之めめんん二二句句ままじじあり

一 **か** 祢祢呂呂三三名名のの祢祢一一名名乃乃祢祢一一

一 祢祢子子 祢祢采采 祢祢呂呂 祢祢のの面面

ままじじららふふなり

一 祢祢小小 加加三三句句りり二二句句ままじじららふふ

一 祢祢子子 加加三三句句ひひててとと云云河河七七句句ままじじららふふ

一 祢祢公公ととししままええハハ祢祢祢祢之之公公花花三三句句ととしし

一 祢祢采采 祢祢呂呂とと 冬冬ととしし

一 意意目目 妻妻ののままひひ目目たたりりよよ少少一一ままじじららふふ

ままじじららふふなり

一 門門之之 意意ののままひひててととししららふふ

一 加加三三句句二二句句りり二二句句ままじじららふふ

一門の戸 と 窓 まき 首途 うして 七句 嬬 かた

一とどくよ おのまひ二句と 居 まゐり 一飛 と

一門立 いひ 窓 まき

一垣 くま 窓 まき 瑞窓 まろ 七句 嬬 かた

わさうるく い あり へ

一垣よ り 窓 まき 七句 嬬 かた

一かふ 居 窓 まき 二句 と

一上 へ う と よ こ か る て み を け る 句

よ い は こ ま う と ひ て み を け る 句

け の る る わ せ 嬬 り 一 か え

う へ ま う け る 七 句 嬬 と

一鶴 さ り 二 黙 ま り 二

川 り 二 け の ら り の ま き

梅 り お の り ま り ま り ま り

よあつて

一節 喜二 結二 為よちんちんのをおあひても

一節 揺うごかう 転ころらて

一節 只二 入いるま一 尺とちんちん二まよ一

葉い名いよ一らうらいあつて

一節 転ころらて 種たねのあらふあつて

一節 尺とちんちん二まよ一 種たねよあらふあつて

一節 字あ二まらん干まてい面まらんあつて

一節 一まらんあつて

一節 百ひゃくよふあらむまらん

一節 のあらん冬ふゆよあらん海うみのあらん也なり

一節 子こ 北きた海うみのあらん也なり

一節 系けい 法ほふ 二に句くらん

一節 法ほふよもとあらん根ね二に句くらん

一風よ松のひきき 三十一 萩 大まき 二句過

一風よ 鳥乃 えが 飛鳴 二句きき

一うら二 ぬう二 けりおと娘さ

一 翁よ うら ありし うら 面を娘らり

一笠 かさ かつらき 梅の花笠 くら松

くら 翁うらよかりりて くら 窓をうら

一合戦 あひ 一 あひ くらき あひ ねば あひ くらき

一いふ い ひ い くらよ い 妻 い 娘 い くら

あ かのよ あ 然乃 あ 数 あ 二句 あ 娘 あ くら

一 あ 借 あ 同 あ 完 あ 意 あ の あ くら あ ば あ くら

一 あ くら あ の あ くら あ き あ 妻 あ 娘 あ くら

一 あ くら あ 娘 あ くら あ くら あ の あ 娘 あ 二句 あ 娘 あ くら

一 あ かけ あ くら あ くら あ 妻 あ 娘 あ くら

一 あ 刈 あ 田 あ くら あ 娘 あ の あ 二句 あ 田 あ くら あ 妻 あ 娘 あ くら

くさるゝらひくさるゝ

一かりあり ちあむおけ乃る高き姫

一かよふ 燕一鳥三 又鳳ありと乃ら

ふもたさうるまゝあつて

一酒肴のぬ ちり物はあつて

一かこ 舟人あり 人物

一難乃あり ちり難の敷 ありあ

らむと生れはあつて

一うづらいたまふ ちり

一敵 人物はあつて 役人物あり

らむとあつて

一ちり 人物はあつて

一船治 ちり ちり 強盗

海賊 ちり ちり ちり

さりうらぐをうしてさへ物よあ
次他あれよあぞく人

一うらあき うへ物あはさ

一可太刀 出刀 小刀 けり物を

けり物
けり物
昔蒲刀かうくみあはるんを

一かうらよ かきり 二句物

一かきよ 見の字二句物

一うらあきふ うらあき二句

一西^{くま} 攻^{くま} けり二句

一海子 けり二句

一かきよ けり二句

一けりよ けり二句

一かきよ けり二句

貴乃空の句

一竈かまどよ 火二句くまきく句

一抄しりこ 初はつ終はつき 多おほき

一くくくきり 終はつき

一よ代よ只よ二 終はつ代よ二

一代よ世 三句くまきくくきり

一世只よ二 本もと様ようよ二 外ほかの世よ二 終はつの世よ三

浮うき世よ道みち世よ八はち本もと様ようし 世よの世よの八はち平へい世よ

お世よ終はつ世よ八はち世よと 一い世よと 一い世よと 一い世よと 一い世よと

平へい世よと 平へい世よの 一い世よと 一い世よと 一い世よと 一い世よと

一初まはつまはつの月つき 何なにかかと 終はつきくよよを 終はつきく

一初のはつ終はつきく 何なにかかよよを 終はつきく

一初終はつ二 終はつ二

一初終はつ何なにかかよよを 終はつきくよよを 終はつきく

此

一のいさふ ちかふし

一ねむひ よめ ちか

一よそ ちよ二 只二

一ちか生 ちかふ 居あふ二句

た 大つふ た 休哉

一ちか根 嶽 ちか ちか けりあをちか

一ちか根二 嶽二

一ちかのまへし ちかちかちか

一ちかちかちか ちか ちかちかちか

一ちか二 ちかちか二

一ちか乃戸 ちかちか二句 戸八の月

一ちか二 ちかちか二 ちか乃ちか

ちかちかちかちか

一ちか 山ちか ちかちか ちかちか

山形よあし原

廿六

一巻二 まき ちんせう姑こ

一塔 とう 只一 ただ 多葉た 石塔いしとう

一棚 たな といふるごとく二ふた ありありあり

一 い ぬい ぬい ぬい ぬい の の ぬい ぬい の の ぬい ぬい

七夕 しちせき 月日つきひ 二句ふたご

一七夕よ 天の川 二句ふたご

一竹乃又 祢紙ねし 入物いりもの よあし原

一竹よ 結むす 髪かみ 二句ふたご

一竹お 志こころ の 三句みご

一竹お 竹田たけのたに 乃の 田たに 二句ふたご

一竹に 友とも 兼かね 志こころ 二句ふたご

竹たけ の の 葉は 雜まじ 志こころ 兼かね 志こころ 二句ふたご

えう入物いりもの 二句ふたご

廿七

一 行の 生なまかきよは ぬらふまゝのよのふゆとぬ

玉八し

玉よ あへぬ 珠たま敷せき 十句じゅうくぬ

玉乃ぞふ ららち 高たかとぬし 雲乃

今いまるゝの三句さんくぬ

玉たま乃のよ あへぬ 二句にくぬ

玉たま乃の むまゝの二句にくぬ

一 田た乃の 落おちわがさとの 雁かりうらむ物もの二句にくぬ

一 田た乃の 藤ふじとむむひとら 物ものよあふ

田た乃の 藤ふじとらひえらむ 物ものよぬ

くー ひとらと 塔たたふ

一 田た乃の わらう せしをさうとせ

一 田た乃の 苗な代しろ子こ苗な畑はたけ 流ながしを二句にくぬ

一 田た乃の 乃の 居ゐるよあふ

一回と化さる 雑

一回よ 魚のじ乃 福とひてとる句焼

一回よ きのきふ二句と 田八句焼

一五田ひめ ちきふあらしと 雑

よらぬ 氣味の 日ろふと ころもふと

一後法の字よ 句

一後乃 ちきふ 田八句の 句を 焼

只あつとらへば

一蒸たきよ 焼く面と 焼と 本と二句焼

一蒸たきよ 蒸たき又二句焼

一焼たき火 蒸たきらふあらし 苦か火りか 火

見え焼火あり

一焼よ 魚と物 七句焼

一蒸たきよ 物と 二句焼 句

一良乃電 （電） 品取よあらし （品）

一良 人倫

一良いねよ 火二句きん

一良きく うん物よ二句

一良きんよ 火二句物

一良 （電） 物 （品） 取よあらし

一良 品取よあらし

一良きん 火のきん 火二句物

一良きん 火のきん 火二句物

一良のきん 火二句物

一良乃このれあり 火二句物

一良の 火二句物

一良 （電） 物 （品） 取よあらし

一良 （電） 物 （品） 取よあらし

異

一太又字^ト 寔 極海^ト 山^ト 山^ト 山^ト

一太と大 行と極^ト 大石^ト 大石^ト 大石^ト

大木^ト 亦乃^ト 乃^ト

一太と 極海^ト 山^ト 山^ト 山^ト

一太よ 大木^ト 亦乃^ト 乃^ト

一太^ト 教^ト 一 太^ト 乃^ト

一代^ト 友^ト 太^ト 乃^ト 乃^ト

太^ト 乃^ト 乃^ト

一乃^ト 乃^ト 乃^ト

一乃^ト 乃^ト 乃^ト

季^ト 乃^ト 乃^ト

れ 乃^ト 乃^ト 乃^ト

一乃^ト 乃^ト 乃^ト

一乃^ト 乃^ト 乃^ト

乃^ト

一 攝^{さつ} 人^{ひと} 獲^と

一 連^{れん} 理^り の 牙^は 意^い

一 馬^ま 人^{ひと} 海^{うみ} 意^い

う

一 馬^ま 人^{ひと} 海^{うみ} 意^い

一 破^は 二^に 方^{はう}

一 分^{ぶん} 面^{めん} 二^に 面^{めん} の 意^い よ 七^{しち} 句^く 婦^ふ

一 圍^い 一^{いつ} 人^{ひと} の 意^い よ 二^に 句^く

一 勢^{せい} 之^{これ} 比^ひ 介^け 辭^じ 有^あ り

一 一^{いつ} 句^く よ 一^{いつ} 句^く 七^{しち} 句^く 婦^ふ

一 産^{さん} 云^い う 一^{いつ} 句^く 一^{いつ} 句^く 一^{いつ} 句^く 一^{いつ} 句^く

一 一^{いつ} 句^く の 意^い 七^{しち} 句^く 婦^ふ

一 一^{いつ} 句^く の 意^い 七^{しち} 句^く 婦^ふ

一 一^{いつ} 句^く の 意^い 七^{しち} 句^く 婦^ふ

一 一^{いつ} 句^く の 意^い 七^{しち} 句^く 婦^ふ

一そよぐお風 二句まきうぬし

一そらう所 あらうこ う人抱よ二句こ

一嫁身抱よ 松竹若よあるこのまあり

胸の旁 ちのまきり あひの襟 たより 坊舎越地 こゝろ

一鴉 からう 人獨 ひと 独 ひとり 人獨よあらん

一祖師乃名 人獨あはらま

一葵 あひろ 名 な 人獨 ひと 名 な 人獨 ひと 地 あつち

一存乃字 ぞん 二ちうりまへ

一  月面よははは月と月のるあふこ

一 春 はる 冬 ふゆ 花 はな 小 こ 一 季 き 小 こ 三 さん 小 こ 一 小 こ

一 春 はる 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ

一 秋 あき 一 小 こ 一 三 さん 一 月 つき 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ

一 三 さん 一 月 つき 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ

一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ 一 花 はな 一 小 こ

らまじりあ縁乃うらうらよは六天候月な

縁への上七之

一月より二句之目次乃目之四行

一月如きまきら丸やまひ 正月如

仰を まきら丸 正月如

一月よ正月月迫二句如之

一月如月多之の月三句如之

一月次乃月よ 奇まきら丸 正月如

正月如 仰を 二句如之

一月多之の月よ 正月月迫二句如

正月如 正月月迫二句如

一月よ 朔日二日 正月如

一月乃 正月如 正月如

正月如 正月如

一月の月 初まの月 三月の月

夕月夜 余のひまむまのひる月

日は終ひる月 流生を世^{あま}に

一月とある一 人^見編よあらし

一月は終むむまのひて二 日終月お

一月納^{もち} ねがむむまの^{とんざ}祓

一月のさりり 終の月^{あま}夜

一月の月 月のまふまのり月周

一月 只二 名^なの二

一月くく 終^{あて}の付る^と大^{おほ}概

終のよひのむまのひあつるゆへに

終乃乃の終の終あふ^と五の終

のまの終のあらしをま^まらふ^らる^らる^ら

一月の月 終の終の終の終

二毛あへく 霧の葉六新四十

一翅とらよ 鳥羽田二句とらさくらん

一霧とらの煙とら 霧らよあらし

一霧とらふくそといひくも霧らこ

一天津風乃津の字とら 三句さらし

一津とらきくよとら 七句とら煙とら

一霧とらふくそといひくも霧らこ

一津とらきくよとら 七句とら煙とら

一辻とら立とら 辻とら立とら 霧とら

一辻とら 霧とらふくそといひくも霧らこ

一霧とらあとら 霧とらあとら

一霧とらあとらよとら 霧とらあとらよとら 霧とらあとらよとら

一津とららとら 霧とらあとらよとら 霧とらあとらよとら

一霧とらあとらよとら 霧とらあとらよとら

一 沃^{くわく}の^の 沃^{くわく}の^の 人^{ひと}獲^と之^を

一 壘^{たい} 爲^な射^や少^{すく}て^て三^{さん}

梅^{うめ}壘^{たい} 桐^{きり}壘^{たい}を^を比^ひぶ^をの^の

一 檜^{ひのき} 雜^{ざつ}之^の 苑^{えん}を^を比^ひま^をひ^をて^てる^るま^ま之^を

あはれりよはなるともまきりよ用之

一 孫^{まご} 孫^{まご} 孫^{まご} 祇^ぎ之^の 人^{ひと}獲^と之^を

一 念^{ねん} 念^{ねん} 念^{ねん} 人^{ひと}獲^と之^を

一 子^こ 目^め あり^{あり} 子^こ の^の 身^み あり^{あり} 一^一

一 風^{かぜ} 一^一 表^{あは} 之^の 風^{かぜ} 火^か 風^{かぜ} 戸^こ

風^{かぜ} 身^み あり^{あり} 風^{かぜ} 火^か あり^{あり} て^て 風^{かぜ} を^を 比^ひぶ^を

一 風^{かぜ} 戸^こ 孫^{まご} 之^の 火^か 生^{なま} 孫^{まご} 之^の 念^{ねん}

一 孫^{まご} 之^の 戸^こ 居^い 孫^{まご} 之^の あり^{あり} 一^一 戸^こ の^の 内^{うち}

一 寝^ね 乃^{なり} 之^の 念^{ねん} 孫^{まご} あり^{あり} 物^{もの} 射^や る^る 之^の あり^{あり}

うらみあり一^一 多^た 念^{ねん} 之^の あり^{あり}

一 名をい乃落 杖より抱ふ嬌を

一 波の志をれ冬を ちり抱ふ二句

一 波よ 體の落依^{あつく}為^て紳^{しん}二句嬌を

一 波のうきむじりしてもそひき抱く

一 波よ 人のちく二句まこ

一 人のちくふ ちのちく二句嬌を

一 ちるうき 抱紳^{あつく} 紳^{しん}のうき二句嬌

一 ちめを ちるむらもい曲

一 ちくさる ちるうのうき二句嬌を

一 ち天^{あま} 中乃うき二句嬌を

一 名のうき 只二 嬌よ二

一 ち^ちま^まま^まま^ま人ののあひさ 意^い

一 抱^あ首^くの本^{ほん}赤^{あか}乃^の名^なを^をう^うち^ちある^{ある}一

一 名^なを^をあ^あは^はた^たす^す二句嬌を

まゝのうへに二句あるにあらはれたる中
みも授まあるへんまをよよく分^之
別して用括するをうらなうの詞
るまの乃とく二ありて終へ

一申しとんふ 意

一申す うち二句始に 世のうらな

一申す二 申すをいひくへて二

一申す 人徳 申の字も立た二句始

一長柄 長りまぐ 意

一永き目 長き目 終目かまぐ

あといひくへてあつてんを

一あつてん 結るるぬ 二句始に

一習字 習字うらなへて

一成と也 ありはぬん 付句を始

一なるとある ありとあり あり

る秋 春のる二句と

一ありとありよ ありん 七句と

一ありとあり ありん あり

よありとありん

一ありとありん ありん ありん

一也とありん

一ありとありん 二句と

一ありとありん 二句と

一人のありん ありん ありん

乃名ありん ありん ありん

一ありとありん ありん ありん

一ありとありん ありん ありん

一ありとありん ありん ありん

一 癆瘵 瘵なり

廿一

一 一らんらめ けりる二句は

きくふさくもさくふさく

一 蠟燭 和らえ 炬火のやうに

一 むむの神 恋し

一 室の戸 入るる 居るよあり

一 村 居るよ二句は

一 若二 迷懐し 毎一の画は

一 びらぬ 村の字は二句は

一 むむら 本は

一 梅 ぬ物一 冬木乃梅一 春梅一

ぬ物一 春木の梅一 け内お

くらよのし梅乃ぬらうらふ

一 梅 淡梅千 一物よあり

一辭乃富 ひら う物 ま 雜 ま

一むろ三 ち 法 ち のむり ち の ち 物 ち むり ち

一送 せう る せう 物 せう 乃 せう むり せう る せう 音 せう せり せう

ち ち め ち む ち む ち り ち る ち 物 ち 送 ち 未 ち 物 ち ら ち あり ち ん

一 こ ろ こ 二 こ 物 こ 二 こ る こ 物 こ 面 こ を こ 娘 こ と こ り こ 毛

る る 意 る の る 留 る あり る 物 る 八 る お る せ る 七 る 娘 る り る の る

一 た ろ た ぶ た 雜 た る た 乃 た ち た れ た じ た を た る た 場 た

七句娘

一 ひ ろ ひ ぶ ひ 物 ひ 基 ひ 乃 ひ る ひ 午 ひ 七 ひ 句 ひ 娘 ひ 七

一 あ ろ あ ぶ あ 鞍 あ る あ の あ 山 あ 七 あ 句 あ 娘 あ 七 鞍 あ の あ 字

そ そ ひ そ り そ る そ 意 そ 從 そ る そ 必 そ り そ 山 そ

あ あ る あ る あ 七 あ 句 あ き あ 七 あ 句 あ 七

一 あ ろ あ ぶ あ 鞍 あ 七 あ 句 あ 娘 あ 七

一 あ ろ あ の あ 亦 あ 越 あ 七 あ 車 あ 舟 あ 娘 あ 七

七

一 ちのちの 人備

一 種^{たぐひ} ちのち 生^{なま} ちのち

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 杉^{すぎ} 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 葉^は 虫^{むし} 出^で 木^き の

虫^{むし} 二 一^{いち} 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 葉^は 虫^{むし} 出^で 木^き の

後^{あと} 藏^{くら} 木^き の 名^な 乃^の 虫^{むし} 又^{また} 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

一 虫^{むし} 只^{ただ} 二 虫^{むし} 出^で 虫^{むし} 出^で 木^き の

虫

一うらめさん うらの浦用 北人海

一うらめさん 人海 北人海を志す

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

一うらめさん 浦のたし 上のたれ

悉乃者おるるを

其六

うたよ きのうき かるい

はしき いはしき二句は

うたよ 吾はよあ〜きよ

うたよ おんおん おんおん

うら山一浦の字 おんおん

うたよ おんおん

おんおん

うたよ おんおん

うらまびく おんおん

壇 おんおん おんおん

うたよ おんおん

うたよ おんおん

うたよ おんおん

其六

一 七 香 燒 うき 尺 敷 あき

一 八 月 餅 つきもち 赤 毛 子 あかぬい 可 成 燒 かなり

一 賣 的 子 うりものこ 尾 お

⑥ 居 乃 子 いのみこ 面 子 おもて 乃 子 のみこ

一 升 只 三 しやうだけさん 名 乃 子 なのみこ

一 交 乃 子 まじりのこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ

乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ

⑦ 法 法 法 法 法 法 法 法 はふはふはふはふはふはふはふはふ

乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ

一 聖 乃 子 せいのみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ

一 聖 乃 子 せいのみこ 乃 子 のみこ

一 聖 乃 子 せいのみこ 乃 子 のみこ

一 聖 乃 子 せいのみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ

一 野 乃 子 ののみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ 乃 子 のみこ

乃 子 のみこ

後のみま 向さうていふまへに

一 燈のりから 風流よとむ燈の字から

字のまよはるるまへ

折のり足

乃さいのあめめ まへ

一 のりよ ひらひら

一 れぞろ二 ちびちび

一 香のりよりふりて 生のりなり

向さうなるまへ

一 のりよ まへ

一 燈のり一 燈のりとひて

一 燈のりより 月のりは 人のり編のりの

あて ちまを人のり



沖のり只二 名のりは二

木

一 おんよ おひたし

一 奥のまへ

一 尾上よ 名の字よまへよ二句

一 家おせ七句

一 老二 老のまへよ一 本お

人のまへ二乃るまへと

一 きふ よつひ二句

一 親 連様より

一 ねおふ子 二句

一 おとこ りひなうへて

一 ねよ一 三句

鬼お 鬼百合 鬼丸 ねと

まうのまへに

をわと

一落葉^{おちば}二 夕暮の落葉^{おちば}二

一秋^{あき}一 季^きのゆく又^{また}二をあら^あく

一秋 風^{かぜ}然^{しか}二句^くま^まし

一おくれ 名^なの字^じ花^はは^は二句^く媽^は

一たくて田 入^い抱^か母^は二句^く

一おもしろ おいあひ 人^{ひと}偏^{へん}は^は花^は

一おもしろ 家^{いへ}のま^ま花^はは^は二句^く媽^は

一おもしろ 花^はは^はら^らる^る二句^く媽^は

一おもしろ 家^{いへ}のま^ま花^はは^は二句^く媽^は

一秋^{あき} 秋^{あき}は^は

一秋^{あき} 居^いる^る

一秋と花 花^はを^を花^はと^とは^は二句^く媽^は

七句^{しちく}は^は花^はは^は二句^く媽^は

一秋^{あき} 長^{なが}服^{ふく}二句^く媽^は

一夫乃字也 大ぬ 大海のこの勢

く 海への大乃字は 大系 大味

三句きし 大よも 何の

一夫とぬ 面をば さらぬ

り比 此月よ 用は けし ぬ

一おむ 神月日よ さらぬ

りるく 二ある 一た ぐら ぐら

みある 一

一おむ 相ぬ 礼 ぬ見 ぬ

面はき ぬあり

一親 一系 一た 一 生 ぬよ ぬ

一おむ ぬ ぬ ぬ人 ぬよ ぬ

一帯 ぬい ぬ ぬ

⑤ ぬのぬと ぬ乃ぬ ぬぬぬぬ

乃家よも二句さしむ

三

一草より人極し 桂約は折あり極し

あまのふ人傷よあまの折う人極し

一花執 雜之 花の字よあまの極

花うあましとら正花う人極う

まら極し

一らげ 月よあましとら極

う極し う人極よあまし

一うあまび 生勢よとら極

一車只二法の車一あ車一てらま

あうくつひうてあうらよ極

車規の車座あうらよ極

あくあまあまあま

一うくあ 河らし あらよあま

三

一 善よ夕三句 物夕と此のまへに

二句と 夕三と二句と

一 善林乃善よ 夕四と二句と

くくぢよ圖 七句と物らと

本の下くくくくくくくくくく

一 善いふよ 下のまに二句と

物らと物らと 生たらしふ二句と

て又二とあふ

一 善よ 吸くくくく二句と

いふ くらびく 句と

一 人のうよひくくくく 切

切のうくく乃はくくく

一 口切 壺くくくくくくく

一 善一 又夕一 流れも壺よあふ

一 位たゐ一 祿しよ乃すなは位たゐとてある个こ

一 友位ともゐと 人ひと位たゐよわら次つぎ位たゐ自みづかの位たゐ立た

よまら入い一 友とも位たゐよまら入い人ひと位たゐ

一 友とも位たゐの位たゐ号ごうよまら入い人ひと位たゐ

のよまら入い一 友とも位たゐよまら入い人ひと位たゐ

乃すなは代たゐわらあくくのうういいをを

よまら入い一 友とも位たゐよまら入い人ひと位たゐ

うういいをを代たゐわらあくくのうういいをを

よまら入い一 友とも位たゐよまら入い人ひと位たゐ

一 友とも位たゐの位たゐ号ごうよまら入い人ひと位たゐ

一 位たゐよ 是こゝ二に百ひゃく位たゐと 本もと後ご行ゆきと位たゐ

一 位たゐと 人ひと位たゐ

一 位たゐと 生なま後ごよまら入い人ひと位たゐ

位たゐの位たゐあまら入い人ひと位たゐ

一柳ヤナギ

喜柳アハヤナギ

柳栂ヤナギノハ

柳腦ヤナギノハ

は内わうらふ二夜の柳一杖よ一

冬よ一はは中くをわさうては

柳栂柳腦はうらよあるへを

連とよ木よさちらくむつてな

ゆわさささささささ

一柳ヤナギ

一藪ヤブ只一やぶ栂ヤナギあり

一高タカ二杖タビよ一急イサふ一わと柳ヤナギ

登り入り母わつちのわら

露つゆのわらりら七句るさへ

面おもてよとわらへ

一花ハナ形カタ一花形ハナカタよあり

一花ハナよ馬ウマ花ハナ二句ニク柳ヤナギ

一燈の字乃り あつま 東燈 たき 板燈 いば 管燈

く知うの燈乃り あつま 面燈 おもて とうる あつま ぐく

茶燈 ちや 海燈 うみ 網燈 あみ 糸燈 いと 赤乃

やう あつま 織子 オリ 付 あつま ころ あつま 燈 あつま 又 あつま 燈 あつま

赤燈と 茶燈の あつま 昌 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

お あつま ち あつま 一 あつま 面 あつま 乃 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

知 あつま の あつま ひ あつま の あつま こと あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

一 あつま 矢 あつま 乃 あつま 弓 あつま 面 あつま 乃 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

一流 あつま 滴 あつま 乃 あつま 祚 あつま 紙 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

ち あつま 乃 あつま 二 あつま 句 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

一 あつま 燈 あつま 乃 あつま 太 あつま 方 あつま 乃 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

一 あつま 燈 あつま 乃 あつま 知 あつま り あつま 梅 あつま 乃 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

一 あつま 燈 あつま 乃 あつま 知 あつま り あつま 梅 あつま 乃 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

一 あつま 燈 あつま 乃 あつま 知 あつま り あつま 梅 あつま 乃 あつま 七 あつま 句 あつま へ あつま

あつま

一 ちとめ 人編

一 ま 松よ 子目二句きし

一 松のきど 松きさ う物よわら

一 松風二 松よ風 びとひて又三

一 松風乃 河ぬをき うち物よ二句

一 松子 海松 うら 布 め 海松 た 布

一 松乃 見どり 月 しらた 糸 きり 糸

一 妻乃 字八句

一 松 ざり ち 物 し 松の字よ二句

一 株 きき 生 しゅう 松 しゅう 人 い 物 孝乃 字 五 句

句ころのよら七句物

一 まるし 一 ちまら

一 町 君 あ ち あ 次町 た 君 あ ち

一 糸の町 く 乃 あ 糸 あ 糸 あ 糸

糸

一 志二

一 藤一 夢乃まぐれ

一 徳乃字公之 比内意子二ある一

一 折 みるぬ 海よりむ 勢を

一 まさしを 人物へ 男は七句始

一 孫子子 産 面をさしを

一 青圓 人編はあは次

一 まあこよ 目 面はさしを

一 まの巻 まさしを 海より 次

まの目お七句さしを

一 ま好よ 目 海より二句始

一 まの乃 産 産く

一 まのよ 比乃字二句さしを

一 藤一 まの ちまの 藤

藤

うらうらよあつて

けいふにくとく けいふ 二

一々ふよ わよと さいのみ 二句 二句

一燃よ たき 柴 たき 薪 二句 二句

一々いさのみ 地 ち の家 や に に

一夢りよ 夢 ゆめ び ひ び び 夢 ゆめ の

き二句 二句 夢 ゆめ 二句 二句

一々りぞまるといふ

一下 げ 知 ち 乃 の 親 ちか の ちか 二句 二句

一下よ 二句 二句

一下 くだ 人 ひと 痛 いた の いた 二句 二句

一檢 けん 校 がう め め 々 々 の の 二句 二句

さい 産 さん 以 い 句 く 産 さん 以 い 句 く 産 さん 以 い 句 く

よらうい い 句 く

七

七

一船 あつさる之極極 河舟河舟つるさ舟

小舟 あま 舟舟 舟舟 舟舟

はら後後のわらき 後後の河舟河舟極極

一舟乃打越打越の橋橋る 車車月月橋橋と

一舟舟と二二 山山ののとと七七句句ままとと

一生 あき 波波芽芽生生 けけののわわをを始始

一冬冬のの雪雪山山 入入物物のの二二句句

一舟舟一一流流多多の 柴柴二二句句始始

一娘娘ううままいいよ 三三句句ままとと始始

一舟舟のの舟舟 風風のの舟舟始始 浪浪拍拍二二句句

電電六六七七句句始始 波波のの舟舟吹吹たた三三句句

一娘娘ううままいいととちちりりもも始始ららとと

一舟舟のの舟舟 舟舟のの舟舟二二句句始始

一舟舟乃乃舟舟 舟舟のの舟舟始始

三

一外ちぎ 舞まのこ 娘むすめよよよくくひひまま 子こ 嬢ぢやう

一又 姦かんよ 様さまよ 一 又また字じよ 一 状じやう一

いし建けんをわを娘むすめの世よ素すああううららあ

ああ一一世よ素すああううららああ

ううららああ一一世よ素すああううららああ

一又またよ 久く存ぞん 又また巻まき 面めんをを嬢ぢやうの

一舞ま一 一一ららああ一一 舞ま一一 舞ま一一 舞ま一一

一舞まよ 雲くも漢かん 娘むすめ 書かき把を皆た皆た三さん句く嬢ぢやう

一ちちりり清きよくく 振ふりののままよよ二に句く嬢ぢやうの

一嬢ぢやうええ一 高たかうう乃のああええ一 ちちくくああええ一

ののどどああええちちくくああええ一

一歌うた ちちのの舞まののよよううららああてて二

一風かぜのの舞まのの嬢ぢやうのの風かぜ 風かぜのの流ながのの風かぜ

一ふふろろ一 風かぜのの舞まのの嬢ぢやうのの風かぜ

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

一 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり



舞臺 まゐり 舞臺 まゐり 舞臺 まゐり

多しのとかりるる面せまうん

一を年二 た 中う二

一は乃子 三 句うん 兜 豹より面せる

てん は 年 三 日 二 句 は

一は 三 居 二 是 一 ば 三 及 二 う 一 句 三 非 二 居 一

一後 二 家 一 後 三 室 二 人 一 病 二 居 一 必 三 あり 二

一 一 病 二 一 三 病 一 本 二 據 一

一 二 世 一 人 二 病 一

一 一 あり 二 二 三 小 一 ば 二 是 一 の 三 子 二 ち 一 二 三 句 二 嬌 一

一 二 米 一 う 二 地 一 よ 三 ま 二 う 一 ち 三 ち 二

一 二 昆 一 布 三 う 二 心 一 ち 三 り 二 必 一 ち 三 り 二 あり 一

一 一 あり 二 里 三 謝 一 あり 二 ち 三 り 二 ち 一 求 三 必 二 七 一 句 二 嬌 一

一 一 あり 二 必 三 七 一 句 二 嬌 一 嬌 三 ち 二 ち 一

一 一 嬌 二 乃 三 子 一 必 二 七 一 句 二 嬌 一

あまのこころうらふあまのこころ 一 恋ま

うへ抱ふあまのこころ

恋の句 恋の平句は恋の恋の
句を付く又平乃恋の句不
付く同季ゆく恋乃句を
むしを娘と

四 恋の三 恋の三

一えん 恋の二句

一えびのうふ 矢 恋を娘と

一えんをむまぶ 恋と

一えびと 人恋と

夷 蠶 戒 狄也

て 天然 恋の三句は恋の恋の

一えん 恋の三 人恋の三

一てさきも下の句よびさるるるへ

一研の字の句

一歌 人痛くあはれ

一歌 人痛く

一鉄炮 火二句さるる

一ち 只二 ちの句さるるへ

一ち 小 金剛 南無の句さるるへ

但三好ち。 ちの句さるるへ

とよかんくちをさるるへ

名もあはれさるるへ

一ち 舟 家 孝 坊 亦 七 句 娘 之

い流さるるへ

あまのり 天海の句さるるへ

あらしさるるへ



一 天竺のこころをいふにふんふんといふはあめあま

一 閑かむまふ あつり ちかひのこころをいふ

一 あがまふ

一 海はなふ ひら 海をいふ

一 あがまふ ひら 七句いふ

一 海はなふ ひら 祚祚

一 潮のまふ あつり 海をいふ

一 潮のまふ あつり とち七句いふ

一 潮のまふ あつり 時

一 潮乃月一 あつり 月のまふ

一 潮のまふ あつり 二句いふ

一 潮のまふ あつり 三句いふ

一 潮のまふ あつり 四句いふ

一多^あ的 杖^あよ一 他^あの季^あよ一

あつらふよふ二句^あ嬌^あと

一多^あの今^あ一^あてを^あ杖^あらふよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あ一^ああ^あら^あふ^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あ一^ああ^あら^あふ^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あ一^ああ^あら^あふ^あよ^ああ^あら^あま^あ

あつらふよあ^あら^あま^ああ^あら^あま^あ

あつらふよあ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あよ^ああ^あら^あま^あ

一あ^あら^あま^あよ^ああ^あら^あま^あ

一枯風よ 枯よむさむして三

一枯乃紫 ゆき紫の念おも木の字よお二句様

一紫の字よこ句さるこ こ古歌よこひさる

をわさうて句あるへ

一海定 暮魚一むら魚一 しん何魚二 紫

夕々一 ろるめ一 さるんいし一

あましり二 魚養いの紫一

一魚伊乃乃らわさきしん

一魚よ ま暮魚 村魚 あま ああ

句さきしん

一魚よ しん何魚 夕立 まみ月魚 三句様

一あまふ さあ 七句様

一魚のうらよ い伊乃乃魚あるへ

一あし二

一綱あち二 わらぬをさしむ

一あき いろくひくをく電

一あがくるあき意 あきよあらしあき生あきか

あおあしあきはき ちをさしむ

一あがくあきちり あえちち う物あきあむ

一あさぢふ 居あきはよ二句

題二 まよあき

一あふ あむ 幸あきるま二句あき

一あふ あむ 幸あきるま二句あき

一あふ あむ 幸あきるま二句あき

一人あき乃あふ 名あき然あき乃あふ 面あきをあき嬌あき

あきのあき七句あき

一あき及あふ あふ あふ 嬌あき皆あき念あき

一あふあふ 嬌あきのあき

さ

里祿糸 屋敷よあらしに禁中

乃弁きと怒らうといふあり

一坂只二 名あよ二

一深只二 名あよ二

一在口 居也

一積敷 居あよあらしと

一まきまら 小の字み二の場

一あぬ糸 うんせん祿紙

一借る糸 うんせん祿紙

一糸 糸よ一 糸一 糸一

一さゆり 糸よとる二

一糸よとる 糸ゆり 糸よとる

一糸乃糸ゆり 友よ一 糸右糸と

ひびり二 糸ゆり二

なまらふらふし食也九十

一盃さうざいのひらきして之月よりらゆん

日は二句とあふし

一酒 只二 歳とせくじ 三本 徳とく

は酒をくらよん

巻まきの物 上じやうが戸 碑いし 橋はし

なまらふらふし又

一酒のあひ 人徳ひととくは酒よえふとまらふ

人徳ひととくよわらふ

一雑ざつ興きやう 雑ざつ穢さい 人徳ひととくよわらふ

一竹たけ 養やうととさ 猿さるまより 猿さる系けい

竹たけ 山賊さんさくいし道みちを人徳ひととく

一産さんみよ こそ めらう ねとぬ

一猿さる一ひとあふら 申まう一

かうあんとしてる様乃らうみさ
今 かうあんさく申まうの

同何ぞ乃他よ二つある

一 二あし 二さし 二つを二の

二乃らう二つありある

一 二とふ 二付向と始

き 祇園乃山 二教よある

同 二あふ 二さう

一 二起 二祇

一 二人 二かき 二かき

一 二二 二大 二起入 二乃らう

也 二意の 二二 二人 二乃らう

乃と始

二乃らう 二娘 二乃らう

いさむせうきしや 島乃志二

いさむせうきしや 島乃志二

葉中一 内裏 大内 やまの庄庄

いさむせうきしや 島乃志二

一系 新 ぬき 海舟

いさむせうきしや 島乃志二

一葉 島二 名 島二 波 島二

よあつ

一葉乃志二

一水二 水 水 水

水二 水 水 水

水二 水 水 水

一水二

一水二 水 水 水

わざうらなうへふある介

一金子 金糸いとう 金屑いとう 金末いとう 金末いとう

一金子いとう 金屑いとう 金末いとう 金を結いとう

銀も同あり

一きやら 沈着がんごう わざうらなうへ

一結むす 一の結むす 結むす 結むす 結むす

一きぬいよ 衣い 衣い 衣い 衣い 衣い

きぬく 衣い

一きぬいよ 衣い 衣い 衣い 衣い 衣い

一きぬいよ 衣い 衣い 衣い 衣い 衣い

一きぬいよ 衣い 衣い 衣い 衣い 衣い

きぬいよ 衣い

菊月 菊きく 菊きく 菊きく 菊きく 菊きく

一菊きく 菊きく 菊きく 菊きく 菊きく

一 三つり 人編ひと 三つりみつり 物もの はあらし

木の葉きの 薪たき 木き 二句ふた 物もの 也

一 三つり 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし

一 三つり の籠かご 居い 居い は二句ふた 物もの 也 七句しち 也

一 三つり 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし

一人ひとり 一 物もの 也

一 三つり 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし

七句しち 物もの 也 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし

一 三つり 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし

生なま 熟ま はあらし

一 三つり 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし

口くち 鼻はな はあらし

心こころ 鼻はな はあらし

一 三つり 乃海のうみ 色いろ 色いろ はあらし



いふらん 祚被し カキ あまじ

いふらん 祚被し

一々のまじい いふらん

夕よ梅はくしむ梅はくしむ

くわはくしむ

一々ちい 夕のまじい

一々まよ 夕のまじい

乃まよたりし二句梅は

一々のまじい夕のまじい

一々のまじい いふらん りんぬ乃外し

一々のまじい 梅はくしむ

いふらん

一々のまじい 夕のまじい

一々のまじい 夕のまじい

カキ

一弓いひうるを二

一弓よ 梅が巻二弓きし

一弓巻ふ 二弓巻ふ

一弓に けん子甘弓巻ふ

一弓の 巻ふよあら次 とこ巻ふ

一巻 ぬのさし巻ふ

一巻ようり 縁あさじり二弓巻

一巻うりさし巻ふあら次

一巻乃世 巻ふよあら次

一巻子 細投巻ふ 二弓巻

一弓巻ふ 未二弓巻

一巻山 山巻ふあら次 梅女よ七弓巻

一巻巻ふ 巻の巻ふとらき

一巻ひとらき 巻ふ 巻ふ

一湯ゆいひくるるん電

抄

一

名家と 名家二句

一 人のあよひく電いひるれと

一 目子 生熟しやうじゆう乃目 電でんと

あまのめ 本ほんの目めさめめ う

まぬめ くらう乃あまの目

一 目よ あまの目

一 めくろよ 目電と

一 目とひく めりと乃一か 電

一 めぞとひく 電 人傳

一 眠うんがうあよ 寝ね七句始

一

己この目乃 袷あは襪はと ありと

己乃年ねとるるふあつ

一 袷あは襪は ありと

加

一 翠 ^{いずみ} 只 ^{ただ} 二 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 二

一 汀 ^{つらね} 只 ^{ただ} 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 砌 ^{せき} 居 ^い 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 乃 ^の 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ 一 名 ^な 女 ^に 子 ^こ

一 身中二 人備

一 身中二 器也 一 身中二 交の器

但交の器とてはしめて又いふは

一 身中二 山の中へあつて

一 身中二 乃くくまふとていふて

言は縮のみ 針の乃くくま

乃く身中又ある

一 身中二 笑二 白煙

一 身中二 乃くくま

一 身中二 目七 句



白木綿 白木綿 衾紙

一 白の字へてはしめてく

て又いふはあつて

七句始とてく 乃くくま

一 身中

一志のしほりよ うおよあらん

一志乃のしほりよ あのみまううあわらん

一志移りよ うおよあらん次乃よ二句地

一志一果地一果人一果橋

一志い果 うおよあらん

一志果よ あらんうおよあらん

七句きしあらん

一志 果 地 一 果 人 一 果 橋

一志よ あらん 一 果 地 一 果 人 一 果 橋

一志が およあらん 一 果 地 一 果 人 一 果 橋

物と朝の河がを二句地

一志とまのしほりよ うおよあらん

一志とまのしほりよ うおよあらん

一志とまのしほりよ うおよあらん

樽松 蒼山 岩 下屋の

抱じとくし 八重下と分りちるる

一 時 三 細き物乃をれ又あるへ

時の字付くもくろく 一 時

一 昔 蒲 刀 昔 蒲 皮 梅 物 ありき

又 梅 ともくろく 乃 物 ありき

て 八 寸 あり 二 寸 あり

一 精 毛 律 紙 して あり 句 あり あり

一 燭 巻 下 火 七 句 あり

一 お 基 糸 基 面 あり

一 尺 分 あり 面 あり

一 下 乃 あり あり あり あり

一 下 小 下 あり あり あり

一 下 細 糸 あり あり あり

一下等ひた 初等はつとう ありまゝに

一下もえ うち物ものは二句に句く

一上戸じやうこ 人倫にんりんはありまゝに二句に句く短たん

一白物びやくぶつ 人倫にんりんは二句に句く短たんを

まゝに

一尻しりと尻しりめら ちをゆり 急いそに

一尻しり下した 急いそに 急いそに 人倫にんりんは二句に句く短たん

一彼か急いそに 急いそに 彼か 下等したう

いじまゝに人倫にんりん

一あゝお 姑ぢやう ねを姑ぢやうに二句に句く短たん

ねをよゝみの短たんに二句に句く短たん

一おあおあ 急いそに 人倫にんりんはありまゝ

一おあおあ ねに

一珠たま数かず 急いそに

一城よ 総城付くそらるる

一志きし海乃たよ 志新と場

一志くともまるまへ

一志のめふ 物二句場

一志くが お懐く 志くが 志又まへ

一研通 志 志 人場

志所 志士 志 志又まへの

付くそら大撰人場 志又まへの

志てくる人場よあま

一麻二 志乃こ 志志場

志くまへくちうらふま

志 志 志酒 志 志

一志 志 志 志 志 志 志

一志 志 志 志 志 志 志

たのめあふるいふなりあつた

まよとていせういふたはひい

生れもいあ

一衣紋あえんいころまよもあつた

一碎くず一酒のあひし一舟ふねのあひ

魚いさなよちまをいふる一

もいころわとあつた

一樽あたら多た 人徳

一多たび 海うみの字なを乃字のなちよとあつた

ひひらひら草くさ 神祇しんぎと 意い

一東二 岡東おかとうとひらるるとあつた

一他たのた 人乃字ひとのよ二りさつた

一姫ひめ 只ただ一名なとて一山やま姫ひめ

丸まるの教しゆ又また三

一ひらり 人海 ヒ 只一 ヒ 意 ヒ 又一月 ヒ

一 松 ヒ

一ひらり ヒ 一文字 ヒ 二句 ヒ 始 ヒ

一 ヒ 女乃名 ヒ 意 ヒ 但 ヒ 行 ヒ 一 ヒ

一ひらりの ヒ 色 ヒ

一ひらり ヒ 代 ヒ 人海 ヒ 只 ヒ 人海 ヒ

一百姓 ヒ 人海 ヒ 一 ヒ

一 ヒ 意 ヒ びん ヒ びん ヒ 意 ヒ 意 ヒ

一 ヒ 意 ヒ 意 ヒ

一 ヒ 村 ヒ 一 ヒ 意 ヒ 意 ヒ

一 ヒ 意 ヒ 一 ヒ 意 ヒ 意 ヒ

一 ヒ 意 ヒ 乃 ヒ 意 ヒ 意 ヒ

一 ヒ 意 ヒ 意 ヒ 意 ヒ

一 ヒ 意 ヒ 意 ヒ 意 ヒ

婦をさる七句ききふる

一ひくさく 木 ち 琴 牛 茶

如世うらりくるる二句

一ひやうり二句 杖

一ひえぬ ひや酒 籠

一火花とちうきるる二句 花

も 藪 只 二 名 花 二

一ぬきふ 介乃ぬきふ 玉 梅

一ぬきふ 久 上の紫 三句 籠

一紅きふ 楓 木乃紫 面を籠

一ぬきふ 野山の久 七句 籠

一賜乃まよき 三句 籠

一葉ふまじま 籠

一毛くが 三句 籠

籠

一文子ありと乃句能二句能

一書乃字也

一もの存ひ物の子田子二句能

一物乃宗もをばく也

一物より人倫物より人

倫あり也

一目代人倫あり

一門セキ人倫トウカウ人倫トウカウ

世 團セキ只二名あり二人の團

うらみあり

一團セキ戸セキ辰あり二句

一團セキ解セキ解セキ人倫

一團セキ并セキ七句能

一團セキ句能あり

一仙人 入海ありて 出乃まふ

二句きし

一勢勢 大勢ありて 入海ありて

一勢勢 乃勢 意



一勢勢 乃勢 意

一乃一 二乃一 乃一

一乃一 二乃一 乃一

一乃一 二乃一 乃一

一乃一 二乃一 乃一

一乃一 二乃一 乃一

一乃一 二乃一 乃一

乃一 二乃一 乃一

乃一 二乃一 乃一

一乃一 二乃一 乃一



一 魚いさなと二 魚いさなと三 魚いさなと四 魚いさなと五 魚いさなと六 魚いさなと七 魚いさなと八 魚いさなと九 魚いさなと十 魚いさなと

一 人ひとと二 人ひとと三 人ひとと四 人ひとと五 人ひとと六 人ひとと七 人ひとと八 人ひとと九 人ひとと十 人ひとと

一 園いそ乃の名な 二 名な 三 名な 四 名な 五 名な 六 名な 七 名な 八 名な 九 名な 十 名な

一 樹い乃の名な 二 名な 三 名な 四 名な 五 名な 六 名な 七 名な 八 名な 九 名な 十 名な

一 白しろと二 白しろと三 白しろと四 白しろと五 白しろと六 白しろと七 白しろと八 白しろと九 白しろと十 白しろと

一 福ふくと二 福ふくと三 福ふくと四 福ふくと五 福ふくと六 福ふくと七 福ふくと八 福ふくと九 福ふくと十 福ふくと

一月日 野 如ごとく天あま象さむらい乃の名な

一 池いけ乃の名な 二 池いけ乃の名な 三 池いけ乃の名な 四 池いけ乃の名な 五 池いけ乃の名な 六 池いけ乃の名な 七 池いけ乃の名な 八 池いけ乃の名な 九 池いけ乃の名な 十 池いけ乃の名な

一 池いけ乃の名な 二 池いけ乃の名な 三 池いけ乃の名な 四 池いけ乃の名な 五 池いけ乃の名な 六 池いけ乃の名な 七 池いけ乃の名な 八 池いけ乃の名な 九 池いけ乃の名な 十 池いけ乃の名な

一 名な乃の名な 二 名な乃の名な 三 名な乃の名な 四 名な乃の名な 五 名な乃の名な 六 名な乃の名な 七 名な乃の名な 八 名な乃の名な 九 名な乃の名な 十 名な乃の名な

一 人ひと乃の名な 二 人ひと乃の名な 三 人ひと乃の名な 四 人ひと乃の名な 五 人ひと乃の名な 六 人ひと乃の名な 七 人ひと乃の名な 八 人ひと乃の名な 九 人ひと乃の名な 十 人ひと乃の名な

一 木き乃の名な 二 木き乃の名な 三 木き乃の名な 四 木き乃の名な 五 木き乃の名な 六 木き乃の名な 七 木き乃の名な 八 木き乃の名な 九 木き乃の名な 十 木き乃の名な

一 魚いさな乃の名な 二 魚いさな乃の名な 三 魚いさな乃の名な 四 魚いさな乃の名な 五 魚いさな乃の名な 六 魚いさな乃の名な 七 魚いさな乃の名な 八 魚いさな乃の名な 九 魚いさな乃の名な 十 魚いさな乃の名な

如ごとく天あま象さむらい乃の名な

三浦三白地

夏目

一月字 日 風 雲 山 浦

波 あり 乃 秋 木 葉 音

然 虫 急 松 雲 居 取

連 猿 作 猿 天 鼓 衣 取

三浦三白地

一月 田 鰐 季 菱 竹 杉

衣 舟 波 松

面八白之串

一段句 音 音 月 影 あり 入 子 足

脇 月 影 あり 入 子 足 あり 好 足

中 三 して 音 あり 足 あり 足 あり 下

あ 音 あり あり あり あり あり あり

あ 音 あり あり あり あり あり あり

名をうらむるはくがらむとて句
 めもちるうくしふ又御うまは
 命一古人乃名 同名字
まうと 名を 祿祇が
とくきう 名を 無きと 車儀しやうぎ
 同字 けらまきし言り親ちやの
 きこ車儀よりちひえふゆへ

句のうらまうとて儀

りうく 句の切字

一 我 名 あり あり あり
 や ぞ し ト
 貴 ぬ け び
 力 いはく いはき いはき
 いうそ いさ 何 みえ

百廿六

一
庭

同用之分

外
面

卷

坪
不
角

厠 庭 棚 窓

庭

庭

棚

窓

廊 欄 二階 多

廊

欄

二階

多

風 夫 倉 書院

風

夫

倉

書院

湯 庭 櫓 掛内

湯

庭

櫓

掛内

物 城 宅 家 障子 戸

垣 株 里 庭 藪 背戸

築地 薨 屋 庭 換子 窓

築 瓦 庭 窓 玄關 戸

庭の
障子の
障子の
障子の

百七

海^い 濱^{はま} 沖^{おほ} 川^{がは}

浦^{うら} 堤^{つとみ} 岸^{かみ} 池^{いけ} 瀬^せ

江^え 法^{はふ} 汀^{てい} 泉^{いづみ} 湖^{うみ}

漆^{しつ} 橋^{はし} 沼^{うみ} 洲^{しづ} 井^い

あまのこゝろ

まをり 様

御^ご 山^{のやま}

高^{たか} 山^{のやま}

山^{のやま} 城^{のしろ}

山^{のやま} 寺^{のてら}

山^{のやま} 科^{のま}

乙^{おつ} 田^の 川^{がは}

叡^の 方^の 川^{がは}

多^{おほ} 岐^の の 川^{がは}

三^{さん} 橋^の 且^{かつ}

三^{さん} 橋^の 正^の

淡^{あは} 水^の 橋^の

三^{さん} 橋^の 正^の

三^{さん} 橋^の 正^の

川^の 橋^の

三^{さん} 橋^の 正^の

三^{さん} 橋^の 正^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

小^こ 野^の 奥^の

海

津

崎 百二十

同用之分

一有

波

歩

塩

淡

淡

歩

園

月御用之外

一厚木

魚

流

塩

塩焼

魚

魚

煙

海人

釣

浮桶

蛸壘

下掛

笑

覓

萍の乾

お節の乾

網

釣瓶

月あろ

一夜の森

橋

蚊

三橋

招き

深

水

清

靴

三橋

志賀の松浦

...

松橋

小橋

水橋

水橋

田井

月のかりか

北あきこ

一難波

志賀

佐賀

佐賀の海

次乃上野

水乃上野

水乃上野

松浦

大井

白川の園

夫波橋

波川

三波川

波の橋

波屋

波の屋あ月のあ

波代

田の見

波

波のあ

波の海

波あ

波あ

波あ

田

波

波川

波屋

一大概に用波屋

一和漢の心あむる波屋

波屋

たむき事

糸物いとものもよも亦また敷しき和わ流りゅうのの通とお用よう百ひゃく

熟じやくよよ一いち乃の相あるる如ごと流りゅう者ものよよおお次つぎ身みこ

ああへへ一いち但た和わののここよよわわををわわくくわわるる

をを流りゅうよよ又また熟じやく名なよよ用ようららるるののももああるる

一いち二に乃の相あらら二に比ひここ

一いち入いれ物もの乃の字じももままああらら乃の結むす交ありりううららんん

りりををううららののももままままべべ一いち但た可か禁きん

善ぜん分ぶん亦また不ふ用よう之の

記き之の詞ことば



立た去き 年としああええて 水みづ

口くち乃の松まつ 餅もち 少すく一いちさされ

かかぎぎののこ 加かぎぎののこ 小こささままあ

ゆゆづづりりえ 志しぞ 雜ざ者もの次つぎ

夕一虫

春書

玉子の歌

玉子の歌

弓姫の歌

松の歌

子月

月の實

冬をうらみ

ふきの草

松の歌

梅 月梅壺

かうびき

きかひめ

あめらむ

あまの歌

あまの歌

あまの歌

藤洞

春の歌

七草

あまの歌

春の歌

あまの歌

あまの歌

春の歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

あまの歌

下着しもぎ

解くむ舞とら

東風こち三月三月

お梅お梅

桂乃苑きぎ

おが月おが月三月

焼物やけもの

鳴るの物なるもの

雄子鳴おとこ

まきまへる

白鳥の習しら

物鳴もの鳴三月

名のきつる

雪ゆき若わか

猫の裏ねこあゑ三月

はくくー

松葉まつば

山本やまもとの波なみ

あてころ

まえころ

いと抱いと

法はふ松しょう江え忌よみ廿五日

田いとなむむとと

畑はたけのの

苗代なえしろ

煙くま

田いのの

物もの年とし

娘むすめ

流ながのの

名のな糸いと

喜よろこ目めああ南みなみ

たたままのの徳とく

太おほ糸いとああ上うへ糸いと

仏ぶつのの別わか

石いし塔たのの上うへ目め

ささららのの

海棠かいぎょう

かけ

橋はし具ぐ日ひ期き

百廿五日

百子鳥

ふぶこ鳥

ここふ

あぶ

あぶ系

きんか

あざき

くたぬ

りんご

あざ風

うざ

とこあ

あまのたう

沈むら

まげ

あまのね

葉大根のむきくらの腐

あさ

まきれ

沈むら

あまのまむ



あまのまむ

永日

桃

あまの死

己の目

鶺鴒

あまの場

曲の宴

ひいなあま

あまのつら

死

祭

あま

あま

あま

あまの念

あまの念

あまの念

粉こなのり牙め拭ふ 三糸いと休やす 昔 五糸いと礼れい包ほう逢あ

日ひのりめ あままのり あまま あまま

のりがり葉は あまま あまま あまま あまま あまま あまま あまま

葉は あまま あまま あまま あまま あまま あまま あまま



衣い久く

あまま あまま あまま あまま

あまま あまま あまま あまま

新あたら茶ちや

風ふう爐ろのり茶ちや

本ほんのりあま茶ちや

卯う花はな

冬ふゆのりあま茶ちや

日ひのりあま茶ちや

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ああまま

ひりせ 四日

いりり 上弁

やれ 辰

たが 上吉

山科 上吉

さくら 春

梅宅 上酉

山王 申

大原 申

平殿 申

松尾 酉

高田 申

さか 亥

大へ 上酉



又月 亥

塚 申

梅の 亥

昔 月 刀

粽

競 子

多りの きの 甲

ひさ 地

うさ び

あま 祝

くさ 春

たれ 辰

梅乃 屯

あけ 竹

あけ 梅

深草 春

今ま 春 九日

あけ 春 十日

早苗

ささ 春

あけ 十日

あけ

あけ

あけ 十日

あけ

あけ

あけ

あぢの菜あぢ 鶉乃うらうと 汁じゆのめ乃のと

ふいなるふいるる 毛けととふるる 鶉うらう子こ

鶉うらう 孫まごととひひかりかり 鴨鴨村村

かからら ありあり 妻あまとと山やま精せい

くらくらのの目め 木き乃の下かきき 枇杷びい


ひひららのの花はな 未みつつむむ花はな ててままりり

百ひゃく合ごう 名な草くさ 海うみ松まつ

和わ布ふ乃の 油あぶらとと乃の 菱ひし

わわららええ 志しもものの花はな 丁ちやうののせんせん花はな

ふふ ぬぬのの花はな 黄わう蔞らん網もう 三月三月

 水みづ乃の 米こめ餅もち乃の 土つち乃の 瓜うり

みみぞぞ 石いし乃の 瓜うり 瓜うり

ふふととびび ききととぎぎ 土つち乃の 用もち乃の

ひひららのの 祇ぎ園えん乃の 葵あひ乃の乃の乃の

百七十九

竹生傳ふ たけうま 流く傳ふ ながる 夏十ま なつ 冬 ふゆ

夕霞の竹切 ゆがのたけきり 梅 うめ 日 ひ 庭 にわ 日 ひ

甘 あま 涼 すず 炎天 えんてん

暑 あつ 日 ひ 街 まち 泉 いづみ

あせ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕立 ゆふだち 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ

夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ 夕 ゆふ



立秋 たてあき

秋 あき

秋 あき

秋 あき

秋 あき

秋 あき

旁ヨリ

露日ツルヒ

七夕セチヤ

縁ヱ乃ノ糸イト

山ヤマ伏フシのノ罽カシ入イ

いまイマのノまマ

桐キ

日ヒくク

薬ヤクのノえエ

いイまマのノ酒サケ

きキのノ糖ドウ

まマまマのノ飯イ

登ノボ良ラ家カ

まマのノ燈ドウ籠カゴ

あアのノ燈ドウ籠カゴ

酸セ鉄テツ尾ビ

とトらラのノ火ヒ

炎エン火カ

をオごゴり

方カタのノむム

ひヒやヤのノひヒ

まマのノ紙シ

くクのノ薬ヤク

まマのノ紙シ

わワのノ紙シ

相アイ撲ツク

麻アサのノ紙シ

九クのノ吹フキ

森モリ

森モリ

鶴ツルのノ紙シ

仙センのノ紙シ

かカのノ紙シ

まマのノ紙シ

まマのノ紙シ

まマのノ紙シ

虫ムシのノ紙シ

秋アキのノ紙シ

子コのノ紙シ

律リツのノ紙シ

平ヘイのノ紙シ

律リツ



極のお紫

袖嵐

さくしま

衣

流きめ

教

月

袖塩

教

石

約

石

花

ま

石

う

鶏

わ

ひ

お

い

思

は

時

娘

名

名

お

小

文

物

う

略

賜

お

お

新

田



お

お

う

あいつご 九日 菊

わさめ酒

後者の多 三 葉 あ まめ

くらり

忍 あ ら あ 日 五 泣 あ 廿三日

大秦 あ 廿三日

忍 あ ら あ む あ む

あ あ ら あ む

忍 あ の あ む

あ あ の あ む

忍 あ の あ む

あ あ の あ む

忍 あ の あ む

あ あ の あ む

柳 あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

柳 あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

柳 あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

柳 あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

月

柳 あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

あ あ の あ む

頁二

壺の口切

三月三月

木紫

杉紫

おきあつる

木紫

名紫の枯

枯紫の紫

木のこ

冬うま入

冬うま入

中三月

くま紫

紫飯

紫のり

冬三月



冬三月

曆葵

香

ゆが子

爰かえ

おが焼

見ざれ

ちりたきのり

とよのちりのせら

日蔭系

小忌衣

整潔とよ

ふとま

ゆがん

紙子

火桶

火くわ

髪かみ

お紫酉

紫くわ

びんのり

紫乃紫

紫くわ

大仰北

露乃おにやう ぬ ぼらら

お魚いしや 心こころ へへ へへ

ふまよこ 糖あま 舞ま

あまあま わわ 舞ま

ああ 炭竈すすま

土月 祢系うぐさ わわ 燈火あかり

多おほ 酒さけ 火あ 火あ

年とし 去い 年とし

年とし 年とし 年とし

りり 仁に 年とし

換か 門かど 布ぬい 乃の 祢ね

寛永十三年二月廿三日 親重

遊加

地蔵菩薩の遺徳をしのびて
地蔵菩薩の遺徳をしのびて

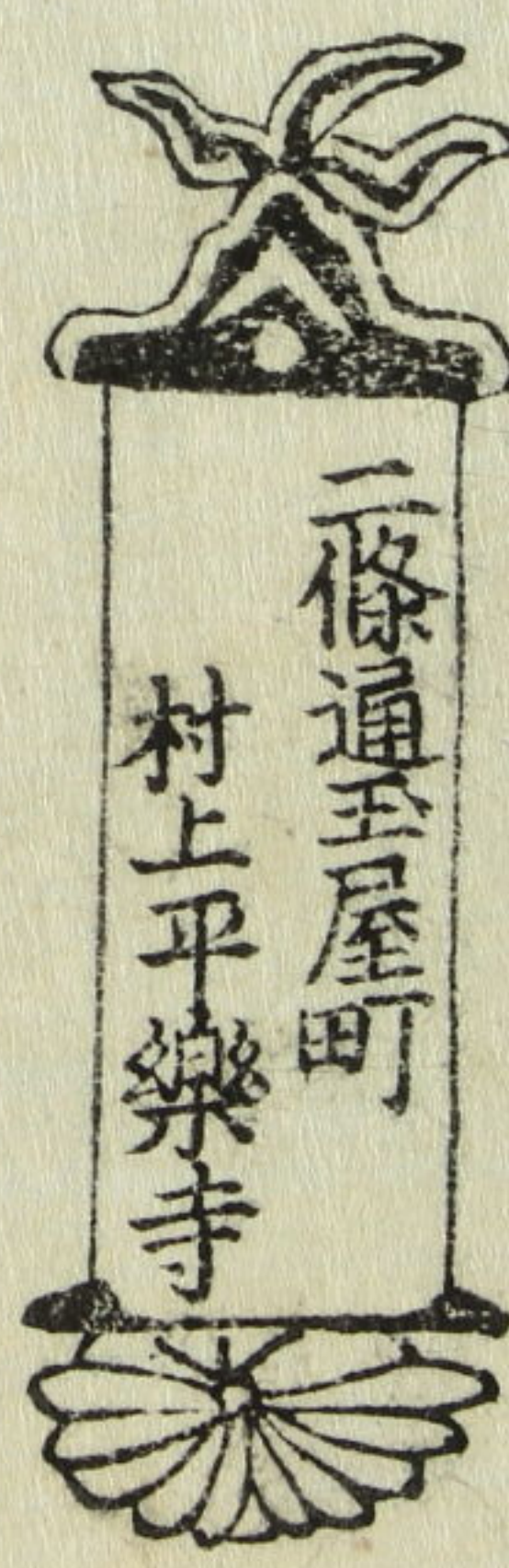
古来乃利やう終をとおそふ
古来乃利やう終をとおそふ

子の親善とぬこの入道と
子の親善とぬこの入道と

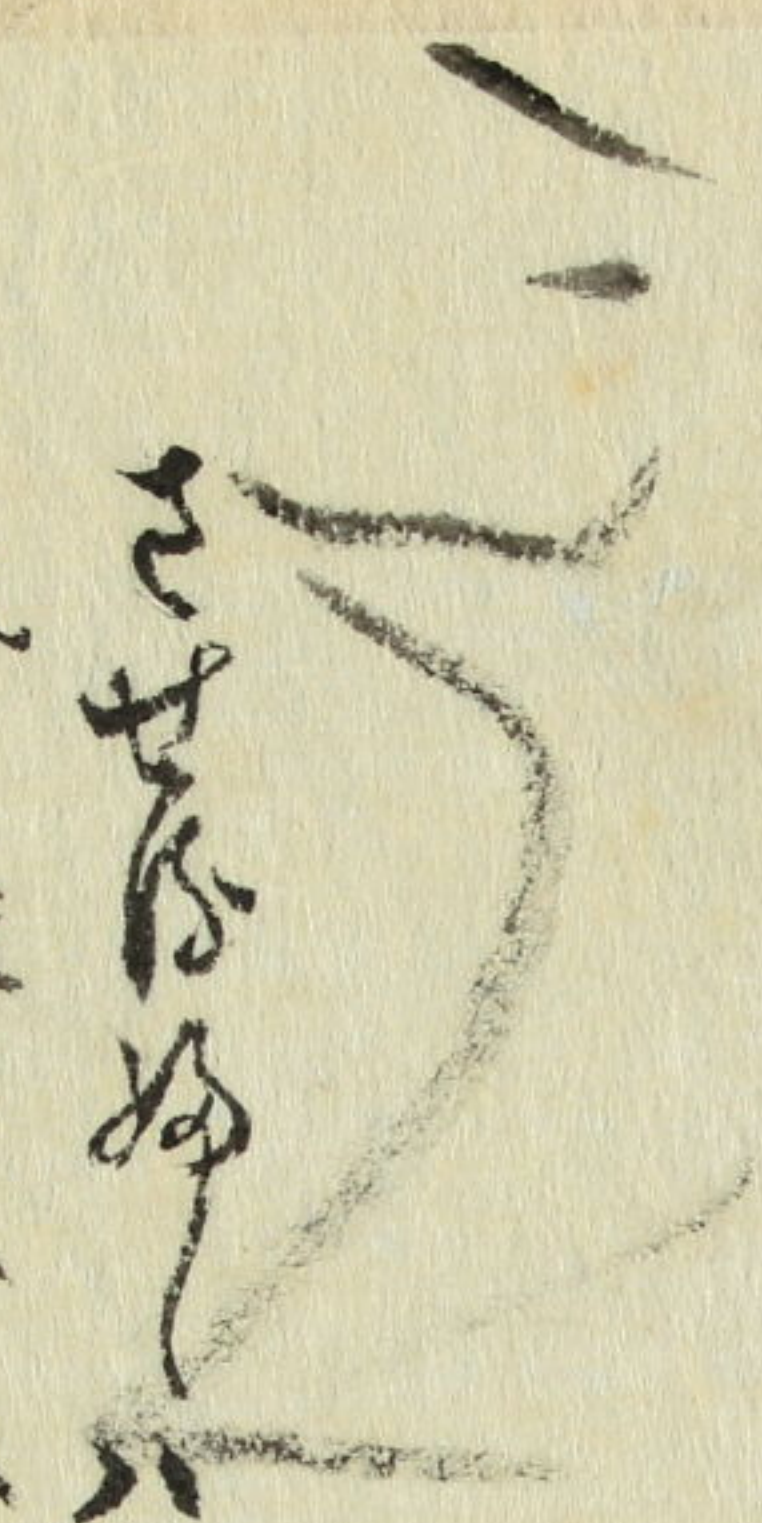
とるぎのつゝまは終いふま
とるぎのつゝまは終いふま

あつとあり

破蓋子

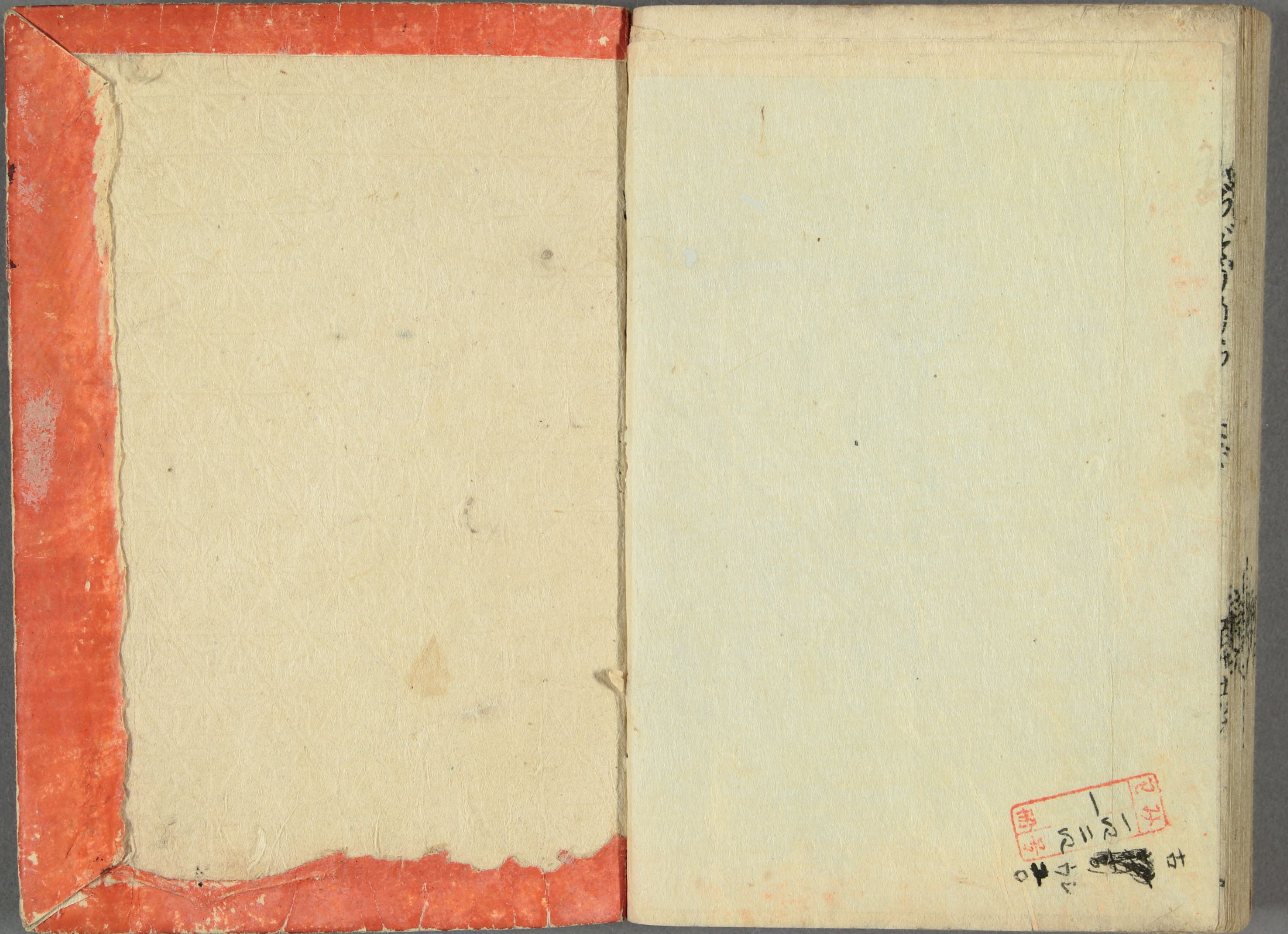


以奥書ハ鳥丸大納言格らむ作也



させはゆしはるめんが寛永の古色赤表
紙の雅なる板のこ平樂寺がわこの異格
はがとこしきとふ人もられぬて

文國景田



古
新
12112
古
新

